

## 令和5年度 熊本市客引き行為等対策審議会

開催日時：令和6年1月31日（水）午前10時～

開催場所：議会棟2階 議運・理事会室

出席者：出席者名簿のとおり

- 会次第：1 文化市民局長挨拶  
2 委員・事務局紹介  
3 会長・副会長選任  
4 報告 （1）熊本県内・熊本市内の犯罪情勢について  
（2）客引き行為等対策について  
（3）客引き行為等対策の現状について

### 《意見交換》

●：会長、○：委員、◎事務局

#### ○委員

- (1) 令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響で繁華街の人流が減少し、客引き行為等に関する110番通報やぼったくりなどの料金トラブル等は減少傾向にあった。ただ、令和5年の新型コロナウイルス感染症の5類移行により、人流が増加し、通報件数等も増加している状況。料金トラブル事案として、客引きに声をかけられ、ついていった店舗でぼったくりに遭うことが多い。
- (2) 被害に遭われる方は、観光客や仕事の都合で来られている方も多い。これでは、熊本のイメージが損なわれてしまうため、客引き行為等の取締りを強化していく必要があると考えている。
- (3) 風営適正化法や熊本県迷惑行為等防止条例と併せて、熊本市客引き行為等の禁止に関する条例が制定されているため、市の巡回指導員と連携し、客引き行為等が行われる前段階で抑止できる状況となるよう努めていきたい。加えて、警察本部と連携し取締りにあたりたい。取締結果は、積極的に広報し、客引き対策における取締りの効果について確認していただけるよう進めていく。
- (4) 街中を利用される方々に対し、自主防犯の意識を持つことについて周知しなければならないと考えている。
- (5) 街中の人流や物流の活性化、街のにぎわいに合わせ、犯罪も増えていく現状がある。実際、これまで減少傾向にあった刑法犯の認知件数は、令和5年は令和4年に比べ増加している。ただ、街のにぎわいを取り戻した上で、犯罪行為を減少させるよう行政機関等と連携し対応していきたい。

#### ◎事務局

- (1) 客引き行為等が多く見られるのは下通アーケードと銀座通りの交わる交差点付近、西銀座通り、栄通りである。フリーの客引きやガールズバー等の女性がアーケード街に出てきて客待ち、居酒屋やカラオケ店の強引な客引きが目立つ状況。
- (2) 指導員は制服着用で巡回しているため、巡回中における客引き等は、指導員の目につかないよう隠れられてしまうことが多く、なかなか指導し難いところ。ただ、警察と情報共有や合同パトロールを実施し、客引き行為等が減少したと実感している。また、市と県警が一体となり対策していることで、客引き行為等により検挙されることを憂惧していると思われる。
- (3) 巡回の規則性を把握されているので、今後、巡回パターンを変則的にするなどの工夫を凝らし、客引き行為等対策をより一層強化していきたい。
- (4) 週末は県外の方や海外の方が多く、客引き等もどの人が観光客なのかを察知し、県外の方など対象に声かけが行われているようである。客引き行為等をさせないような抑止対策に今後努めてまいりたい。

#### ○委員

指導員の姿が見えるときの客引き等の振る舞いが違っており、遅い時間まで巡回していただいておりますが有難い。

ガールズバーについて、多くの店舗が接待を行っている。しかし、風俗営業として取り扱われていない。これが抜け道になっていると思われるので対応してほしい。

#### ◎事務局

風俗営業の許可申請を行っていない、接待を伴うガールズバーが複数存在することについて、県警も承知しており取締りを行っているところ。県警の見解を言える立場ではないが、今後も更に取締りを徹底していく。ご意見は県警にお伝えする。

#### ○委員

半グレが入ってきているという情報もあるが、いかがか。

#### ◎事務局

暴力団はいわゆる半グレを使い違法行為を行っているなど潜在化している現状があり、風俗営業にも半グレが関与しているところがある。県警のこれまで客引き行為等の対策については生活安全部門が主体的に行ってきたが、現在は暴力団対策を所管する刑事部門と連携を密にして取締りなどを強化し対応している。

◎事務局

半グレがガールズバーを経営している場合、女性を表に立たせ、用心棒のような男性が近くで見守っている体制で客引き行為等をしていることが多い。県警と情報共有し、繁華街が安全安心なまちになるよう尽力していく。

●会長

是非、市と県警と関係機関と連携し、安全安心なまちになればよいと思う。

○委員

- (1) 平成28年の熊本地震の復興のために人が県外から多く流入した際に、2日連続で、地元の客引きグループと県外からの客引きグループとで乱闘騒ぎになったことがある。現状としても、コロナの5類移行などの影響で県外や海外の方が非常に多くなっている。
- (2) 海外の方と接するときに、商店街の方々も通訳アプリを活用されていると思うが、客引き等も通訳アプリを使って店舗を案内する。海外の方からすれば、言葉でのコミュニケーションがとれる方についていくと思う。今後は言語の問題が大きな課題となってくるのではないか。
- (3) 指導員や県警の制服が目立ち、客引き等から認知されている。指導員が見えることで抑止効果があると思うが、たまには腕章などの目立たない格好で実態把握をするなどしても効果があるのではないか。

◎事務局

実態調査では私服で調査し、おおよそ正確な数を把握している。

巡回指導については、検挙が目的ではなく、客引き行為等が条例違反であることや客引き等についていくと料金トラブルなどに発展することがあることを周知することで、抑止することが目的である。巡回パターンを工夫することで、客引き行為等対策をより一層効果的に推進していきたい。

海外の方が客引き行為等に遭わないような対策について、今後検討が必要と考えている。特に半導体関連産業の県内進出もあり台湾の方が多くなっているの、客引き行為等の禁止に関するチラシの多言語版を作成し啓発を行おうと思案しているところ。

巡回指導効果の最大化については、巡回時間等を変則的にするなどの工夫を行っているが、私服での巡回や腕章だけでの巡回など、虚を突いて巡回指導にあたることによる効果の最大化を図ることも検討したい。

○委員

いつ指導されるか分からないといった緊張感を持たせることも必要かと思う。

○委員

熊本地震後は、料金トラブルの話が多かった。行きつけの店がない方を狙い、客引き行為等が行われる事案が多くあった。半導体関連産業の県内進出の影響として、行きつけの店がなく、どの飲食店へ行こうか探すお客様も多くなると推測できる。そのため、熊本市客引き行為等の禁止に関する条例を、対象社員さんに周知するといった、直接的なアプローチしてはいかがか。

◎事務局

ご提案のとおり、半導体関連事業所については、外国人の従業員の方も多いのではないかと考えている。先ほど話の上がった外国語版の周知チラシを活用するなど効果的な周知に努めてまいりたい。